

<令和6年度とうきょうすくわくプログラム活動報告書>

社会福祉法人あすなろ福祉会 あいあい保育園(66-0182)

東京都板橋区仲宿 32-3

1. 活動のテーマ

沖縄の自然



●テーマ設定理由

- ・今年度の作品展のテーマが沖縄であり、「沖縄はどこにある?」「どんなものがあるかな?」と話していた時に、特に興味を持ったのが沖縄の自然だった為。
- ・砂糖ってなにから出来ているんだろう? 甘い白い粉だけど、もともと粉なのかな? 子ども達のそんな疑問から、想像する機会を作りたくて選んだ。

2. 活動スケジュール

- ・初めに園で契約している沖縄の農園の方によるオンライン配信で、沖縄の自然についてやサトウキビ、マンゴーなどの説明を聞く。また、栽培方法を調べ実際に育ててみる。
- ・水族館で、沖縄の海について知る。
- ・調べた事や学んだ事を作品展で発表する。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定

調査作業 : 調べたことを記入する用紙、パソコン
マンゴー・サトウキビを植える作業 : シャベル、プランター、土、ジョウロ
黒糖を作る作業 : 鍋、包丁、木べら、トレー、ガスコンロ
※子ども達が火に近づかないように気を付ける。 等

4. 活動の内容

沖縄の自然について調べる中で、実際に沖縄の農家から送られて来たサトウキビ・マンゴー・黒糖を食べ、育て、観察した。
また、学んだ事・調べた事を保護者を招き作品展で発表した。



5. 活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり

- ・サトウキビの皮を剥いた時に、「固い!」という声があがる。実際に剥いた物をかじってみると、「甘い!」「あんまり美味しくない…」等話していた。
- ・サトウキビの苗を植えた時には、「大きなあれ」と言って願いを込めて植え、水やりも一生懸命行っていた。
- ・大きなマンゴーが沢山届き、「大きい!」とびっくりする子ども達。実際に試食すると、「甘くておいすぎる」と大喜びな様子だった。

6. 振り返りによって得た先生の気づき

沖縄に行ったことがある子もない子も沖縄に興味を持って調べていた。
今回はサトウキビとマンゴーに焦点を当てて実際に栽培をしたり、試食をしたが、砂糖の原料を知ったり、普段あまり手に取らない果物を食べてみたりと、貴重な経験ができて良かった。

作品展での発表の様子

